

市民意見募集でいただいたご意見と
ご意見に対する市の考え方

ご意見	市の考え方
①ガイドラインの趣旨・方向性に関する意見（14件）	
<p>1 このガイドラインは都心臨海部ですが、都心臨海部以外の地域でも、夜間に安全、安心に移動できる光について検討してほしいです。観光を考えることは重要ですが、通勤、通学で日常的に歩く人のことを考えて、夜間の歩行環境を安心、安全にすることの優先度を上げて対応してほしいです。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 夜間の歩行者の安全性については第一に、P.40「参考資料」に示す関連法律や各種基準等が定められており、その上でより魅力的な夜間景観の形成に向け、方向性や具体的な手法をガイドラインとして定めるものです。 夜間の歩行環境については、「第3章 都心臨海部の夜間景観の方向性」のP.15「方向性（3）安全・安心で快適な光による夜間の歩行環境をつくります」で、安全・安心な光環境を確保し、さらに居心地の良さや温かさを感じられる快適な光環境とすることを求めています。また、都心臨海部以外の地域についても「第1章 はじめに」のP.3「1-3. ガイドラインの対象範囲」のとおり、本ガイドラインの考え方や演出方法等を活用・展開していくことを期待し作成しています。 いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>2 横浜に移住して20年近くなり、出張が多い仕事に就いているが、羽田空港から横浜駅までの高速バスの道中、ベイブリッジから眺める横浜の夜景を見て、「ああ、横浜に帰ってきたな」といつも感じている。横浜の夜景は、函館などの日本3大夜景のような、山から見下ろす夜景とは違って、水上バスなどに乗り海から眺めたり、みなとみらいなどは埋立地で平坦なので歩きながら楽しむことができるのが特徴だと思う。ガイドラインを拝見すると、あえて見る場所を限定せずに整理されており、色々な場所から眺めることができるためそれを意識した設えや工夫をすること、それこそが横浜の夜景の豊かさなのだと思ふ。魅力的な夜間景観をつくるのが目的と書いてあるが、すでに魅力的だと思う。しかし、このようなガイドラインを作り、さらに磨きをかけることは大事だと思うので、時間をかけてでも、少しづつさらに魅力的になり横浜の夜景のファンがもっと増えることを期待している。</p>	<p>ご評価いただき、ありがとうございます。 ご意見のとおり、様々な場所から見られることを想定して策定しています。その旨についてより分かりやすくなるよう、P.10「方向性（1）-1」に、近景においては、歩行空間やエリアが持つ特色を楽しめることや、中景においては、対岸や内水面越しの街並みやエリアごとに異なる夜間景観を楽しめること、遠景においては、それらの重なりにより横浜らしさを感じることができるといったことを意識し、様々な場所からの見え方を検討することが重要であることを追記しました。</p>
<p>3 イベント時には明るくても良いと思うが、眩しすぎない今の落ち着いた夜景が横浜らしい。一昔前はみなとみらいなんてなく、横浜の夜景のイメージはあまり印象がないが、今は横浜の夜景といえばみなとみらいが多くの人々のイメージだろう。イベントによる眩しさは、お客さんに来てもらうのには良いのかもしれないが、明るい期間は短くするなど、今ある日常の夜景を大事にして欲しい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 本ガイドラインでは、「第3章 都心臨海部の夜間景観の方向性」の中で、方向性の一つとして、時間的なメリハリを意識することを挙げています。具体的には、P.14「方向性（2）-2」で、横浜らしい常時の夜間景観とイベント時の特別な演出を、どちらもより楽しめるようにするために、常時は落ち着いた夜間景観とするとともに、特別演出の頻度や期間・演出時間については限定的とするなど、イベント時の特別感を高めるよう配慮を求めています。</p>
<p>4 12ページの「シンボルとなる建造物は、その特徴を効果的に魅せる照明の工夫」について、ライトアップする期間を限定的にした方がいいと思います。横浜には主に江戸時代後期の歴史的建造物がいくつかあります。時期を問わずにすべてをライトアップすると関心の薄い部分が発生すると思ふ。そこで、時期を分散してライトアップすることで、歴史的建造物1つ1つに関心を持ってもらいやすくなると思ふ。また、限定的にすることで集中的に美しくライトアップすることも出来ると思ふ</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 本ガイドラインでは、基本的には歴史的建造物はシンボルとして象徴的なライトアップとすることを記載していますが、「第3章 都心臨海部の夜間景観の方向性」のP.13「方向性（1）-2」では、イベントなどにより常時とは異なる形で横浜らしい演出を行うことも推奨しています。</p>
<p>5 景観とは街並み、建物の外観のみを指すのではなく、人の営みのある風景を「景観」として検討できないでしょうか？例えば、みなとみらいの全館点灯のようなものを横浜ならではの夜景というのか、全館消灯したなかで、星空や野外映画を楽しもうとするのをそのような夜景というのか、未来の社会はどちらに向かっているのでしょうか？</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 本ガイドラインの前提となる「横浜市景観ビジョン」において、「『空間』と『営み』が重なり合い、目に見えるかたちとなってあらわれたものを『景観』として捉え」ています。</p>

市民意見募集でいただいたご意見と
ご意見に対する市の考え方

ご意見	市の考え方
<p>6 本当に読むに堪えないガイドライン。 こんなに光らせてどうするというのか。 最低でも、時間を決めて光らせてください。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 本ガイドラインでは、「第3章 都心臨海部の夜間景観の方向性」の中で、空間的なメリハリや時間的なメリハリを意識するといった方向性を挙げています。具体的には、P.14「方向性(2)ー1 空間的なメリハリを意識します」として、特定の建物や通りについて際立たせたい箇所は照らし、その周辺は落ち着かせるなど、抑揚のある街並みとなるよう配慮することを求めています。また、P.14「方向性(2)ー2 時間的なメリハリを意識します」として、常時は落ち着いた夜間景観とするとともに、特別演出の頻度や期間・演出時間については限定的にするなど、イベント時の特別感を高めるように配慮を求めています。 いただいたご意見は、関係部局と情報を共有します。</p>
<p>7 古き歴史ある街並みをライトアップするのは、まだ良いのですが、 電飾をつけたダサいものを光らせるのは、これ以上は本当にやめてください。 暗いからこそ、夜は美しいのです。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 本ガイドラインでは、「第3章 都心臨海部の夜間景観の方向性」の中で、特別な夜間景観の演出により、横浜らしさを様々な形で表現するといった方向性を挙げています。今後は、本ガイドラインに基づき魅力ある夜間景観の演出を誘導していきます。</p>
<p>8 近年みなとみらいを観察していて光害に匹敵するのではと思う程のLEDの氾濫に辟易として います。特に冬の青から紫系のライトは寒々しくなぜこのようなライティングが許されるの か残念に思っていました。点灯すれば良い時代から、照明の色や照らす場所、時間など、野 放しにされている夜の景観をぜひ整理し、持続可能な趣のある横浜にしてほしいと思いま す。 決して横浜が画一的なテーマパークのようにならないで欲しいです。</p>	<p>ご評価いただき、ありがとうございます。</p>
<p>9 イベントを企画する立場としては、演出をする際に考慮した方が良いことなどが載ってお り、企画の検討に役立つ。 神戸のルミナリエや東京のイベントと比べると、横浜はまだ知名度が高い夜のイベントは少 ないかもしれないが、歴史的建築物をもっと生かすなど、うまく生かすと面白い企画ができ るかもしれない。横浜らしさが大事。</p>	<p>ご評価いただき、ありがとうございます。</p>
<p>10 クリエイティブアンドエレガントという方向性は、イベントによくあるキャッチコピー的な 言い方ではなく良いと思う。</p> <p>11 P9に書かれている、クリエイティブ&エレガントという方向性は良いと思う。 横浜は、ほかの港町と比べてもクリエイティブな都市だと思うし、歴史的建築物のライト アップなどはエレガントさもあると思うから、この言葉は横浜らしいと感じる。 赤レンガ倉庫のライトアップは港町横浜らしさがあってきれいだし、たまに天気予報ででて くる横浜の夜景はやっぱりきれいなので、これからも維持してほしい。</p>	<p>ご評価いただき、ありがとうございます。</p>

市民意見募集でいただいたご意見と
ご意見に対する市の考え方

	ご意見	市の考え方
12	<p>方向性について エレガントという言葉は良くないと思います。「エレガント」というイメージワードから配色まで想像ができてしまい景観を形成する幅が狭くなる恐れがあります。わかりやすさも大切かと思いますが、少し抽象的な言葉でも良いのではないかと思います。また横文字でなくても良いと思います。横浜の良さはやはり歴史的な背景を持つ建造物をなんとか保存しながら革新的なことにも取り組むことではないでしょうか。エレガントにはその要素がありません。例えば、creative&spin spin「紡ぐ」は繊維に撚りをかけてを糸を作る意味。また言葉をつなげて一つにつなげる、思いをつなげるという意味もあります。絹は横浜の都市形成とも深い関わりがあり、また歴史を紡いで未来につなげていく大切さも表すことができるのではないかと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 都心臨海部の夜間景観の方向性を表す言葉については、多くの人を惹きつけるような創造性と活力あふれる特別な夜間景観を表現するものとして「クリエイティブ」を、開港以来の歴史や文化といった横浜らしさやエリアごとの個性や賑わいが感じられる魅力と品位を表現するものとして「エレガント」を、それぞれ用いました。そのような意図がより伝わるよう、「第3章 都心臨海部の夜間景観の方向性」のP.9「1.夜間景観の方向性」の内容に一部追記しました。</p>
13	<p>カタカナのコンセプトが「クリエイティブ&エレガント」は少々ありきたりで大雑把です。横浜ならではの魅力が伝わるような言葉が相応しいと思います。クラシカルとかヘリテイジとかソフィスティケートとか、あるいはトラディショナル&モダンとか、如何でしょうか？</p>	
14	<p>横浜市都心臨海部夜間景観形成ガイドライン（案）を拝読しました。 ガイドライン策定の目的や位置付けについて、目指すところなども理解できました。具体例なども挙げられ、分かりやすいものになっていると思います。 全体を読んでみて、横浜市で策定するこのような文書について、デザインを手がけている専門家の力を借りられないものかと思いました。 というのも、全体を通して1点だけ、どうしても違和感を覚える箇所があるからです。 それは、都心臨海部の夜間景観の方向性として掲げられた「Creative & Elegant」という言葉です。 私には「エレガント」という言葉の根拠と目指すところがイメージできずにいます。 「横浜の多様な歴史と文化が感じられ、創造性と活力が光る、横浜ならではの夜間景観」という一文を読んでも、エレガントは浮かんできません。 強いて言えば、港のシンボルであるベイブリッジは、エレガントであると思いますが… 「エレガント」に変わる言葉として考えてはみましたが…素人には限界があります（ですが、一応記しておきます） Cool（クール） クールジャパン戦略など、使い古されたイメージ collaboration（コラボレーション） 協力、共同合作など ビル群の夜景などに集合の美を感じました。 Dynamic（ダイナミック） 力強い、活力 やはり駄目です。 このような点から、横浜市として公開する文書は、テキスト等も含めて専門的な部門のチェックがあればと感じました。 的外れな提案になっているのは承知していますが、一市民の意見としてお目通しいただければ幸いです。よろしくお願いたします。</p>	

市民意見募集でいただいたご意見と
ご意見に対する市の考え方

ご意見	市の考え方
②照明手法に関する意見（7件）	
<p>15 東京方面から横浜に戻ってきて、ベイブリッジを渡る時にいつも「横浜の夜景は地味」と家族全員感じています。「趣」も必要ですから、東京に負けずに明るくすることはないですが、陸地と海の「縁（ふち）」「際（きわ）」の部分縁取りのように強い光で表すことができないかなと思います。水面に映る光も明るくなるはず。海の生き物の生態系への影響もありますかね。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 本ガイドラインでは、「第3章 都心臨海部の夜間景観の方向性」の中で、特徴的な都市構造を生かして、「横浜らしさ」を感じられる常時の夜間景観をしっかりとつくることを挙げています。具体的には、P.11「構造② 横浜港を囲むリング状のつながり」で、水際線沿いではリング状のつながりを演出することを求め、エリアを横断した都心臨海部の夜間景観の連なりを表現することや、P.11「構造③ 複数ある内水面」で、水辺の建築物や樹木等の外構照明では、水面への映り込みも意識した照明演出とすることなど、街の一体感や魅力ある水景をつくり出すことを求めています。また「第5章 魅力的な光のあり方」のP.35「②水辺のあかり」では、周辺環境に応じて水面へのあかりの映り込みを意識した照明計画とすよう求めています。 いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>16 8. 14. 18ページに掲載してある写真のように街全体を見たときに建物以外の空中の空間も活用できるとよりよくなると考えるので、港の上空などにサーチライト等による演出があってもよいのではないかと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 本市では現在、民間事業者と協力し、冬のイルミネーションイベント「ヨルノヨ」でサーチライトによる演出を実施しています（P.17〈コラム〉参照）。今後も本ガイドラインに基づき、民間事業者と連携し、様々なアイデアや工夫を生かした魅力ある夜間景観の演出を誘導していきます。</p>
<p>17 明るい場所と暗い場所の対比はとても重要だと思うが、暗すぎる場所が出てしまっは逆に怖くなってしまふ箇所、治安の悪い場所が出てくるのではないかと思いますので、32. 34ページに掲載してあるような、通常の街灯以外の物でもいいので照明があると良いと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 いただいたご意見は、関係部局と情報を共有します。</p>
<p>18 p37の「④植栽のあかり」について、葉っぱの成長や枯葉、落ち葉等によってライトアップに悪影響はでないのか。また、その対策はどのように行われるのかを具体的に書かれているのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 本ガイドラインでは、植栽を必要以上に照らしすぎないように注意することや、器具の設置は植物の育成に十分に配慮することを求めています。植栽や樹木への影響については、照明の種類や計画内容により異なるため、具体的な内容については、個別の計画ごとに調整を行うこととなります。</p>
<p>19 37ページ ④植栽のあかり 「明るさを作ることでまちなかで緑の広がりを感じることもできる」という部分は、建物だらけのまちの中でもわずかに自然を感じる事ができるという点で賛同できる。自然に触れることは健康に良いと科学的にも証明されている点でも、このこだわりは良いと感じた。</p>	<p>ご評価いただき、ありがとうございます。</p>
<p>20 p39の「3. その他の配慮事項」の「①適切なメンテナンスによる夜間照明の維持」につきまして、当初に設定した適切な光を維持するためのメンテナンスとは、どのくらいの周期で行うべきなのでしょう。ライトの種類や設定した明るさによって異なるとは思いますが、それぞれのメンテナンス周期の目安などを示してあると、常に一番良い状態の景観を安全に維持でき、さらに管理側も配慮がしやすいと思いました。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 本ガイドラインでは、照明のメンテナンスに際して、当初計画した適切な光を維持するとともに、適切な維持管理を継続して行うなどの配慮を求めています。メンテナンス周期については、照明の種類や計画内容により異なるため、具体的な内容については、個別の計画ごとに調整を行うこととなります。</p>

市民意見募集でいただいたご意見と
ご意見に対する市の考え方

	ご意見	市の考え方
21	<p>ガイドラインのどこかに、ライトアップは、「都心臨海部における経済活性化やナイトタイムエコノミーの取組」の推進だけでなく、啓発等を目的としたライトアップも存在する、といったことを追記してください。</p> <p>啓発等を目的としたライトアップには次のライトアップがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市庁舎では、「ロシアによるウクライナ侵攻への抗議と国際平和への祈りを込めて、横浜市庁舎の一部を、ウクライナ国旗をイメージした青・黄色」にライトアップ。 ・4月の世界自閉症啓発デーでは青の光で市内の観光スポットなどをライトアップ。 ・横浜市の取組ではないですが、昨年12月等に神奈川県庁本庁舎では、「性的マイノリティの尊厳と社会運動のシンボルとして使われている6色のレインボー」にライトアップ。 <p>今回のガイドラインを決める背景に、「ナイトタイムエコノミー活性化の推進」があっても、啓発等でのライトアップを実施している事実をガイドラインに明記してほしいです。今のガイドラインには、啓発、平和、人権といった言葉がありません。平和や人権が守られてこそ、経済が活性化していくと思います。経済活性化も重要ですが、他の取り組みについてもガイドラインで触れてください。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>いただいたご意見を受け、第1章のP.2「夜間景観を取り巻く状況の変化」に、普及啓発等を目的としたライトアップが全国的に行われている旨を追加しました。また、第4章「都心臨海部における景観推進地区・都市景観協議地区（関内、みなとみらい21中央・新港）の方針」のP.23「<コラム>カラーライトアップの調整」のタイトルを「<コラム>普及啓発やイベント等によるカラーライトアップ」に変更し、本文の内容に一部追記しました。</p>
③環境配慮に関する意見（6件）		
22	<p>P39 3.その他の配慮事項 <コラム>再生可能エネルギーを使用したイルミネーションについて 環境に配慮をし、再生可能エネルギーから作られた電気を選択し使用している。この記述に関して、このガイドラインを読むまでは、再生可能エネルギーを使用していることは知らなかったで、ガイドラインを読むまでの私のように、再生可能エネルギーを使用していることを知らない人が多いと思うので、もっとPRして行くべきだと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>いただいたご意見のとおり、イベント等の際に併せてPRすることなどについて、関係部局等と情報を共有します。</p>
23	<p>39ページの環境に配慮とは具体的にどのくらいなのか、また節電効果は具体的にどの程度あるのか知りたいです。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本ガイドラインでは、電力使用に際して、再生可能エネルギーの活用や省エネルギー化対策などの取組を推奨しています。具体的な省エネ効果等については、照明の種類や計画内容により異なるため数値を定めませんが、積極的に省エネルギー化に努めていただくよう誘導していきます。</p>
24	<p>p39の「3.その他の配慮事項」の「②環境に配慮した照明」という事項に関しまして、どのくらい環境に配慮しているということが分かれば、より安心して横浜の夜間景観を楽しむことができると思うので、SDGsの取り組みとしてどのくらいエネルギー消費の抑制が行われているのか、また、再生可能エネルギーをどれだけの割合で利用できているのかを数値で示すと良いのではないのでしょうか。</p>	

市民意見募集でいただいたご意見と
ご意見に対する市の考え方

ご意見	市の考え方
<p>25 ただ綺麗な夜景を演出するのではなく、照明は電気を使うものなので、できるだけ環境に優しい電気を使うようにして欲しい。 明るいだけが良い夜景ではないので。イベントの照明も、省エネの電気を使うと良いと思う。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 環境配慮については、まず「第1章 はじめに」の中で、「再生可能エネルギーの活用や省エネルギー化対策などを積極的に推進」すること等を示しています。また、「第3章 都心臨海部の夜間景観の方向性」や「第5章 魅力的な光のあり方」の中では、LED等の省エネ器具を使用したり、再生可能エネルギーからつくられた電気等を選択することで、見た目の美しさだけではなく、サステナブルで魅力的な夜間景観の形成や、将来的な維持管理の負担の低減、SDGsの取組推進等に言及しています。</p>
<p>26 環境配慮の文言が、最後に申し訳なき程度に書かれています。（事例が「ミライト」も、好事例とは思えません。）これからの時代は、環境配慮があらゆる政策の先頭に来て、そこから景観なり都市デザインなりの議論が進んでいくのではないのでしょうか？</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 「第5章 魅力的な光のあり方」のP.32「⑤季節や時間に合わせた演出」では、時間に合わせて光の強さや色などを調整することや、P.39「②環境に配慮した照明」では、照明器具の点灯時間や、調光によるエネルギー消費の抑制など、適切な制御を検討することを求めています。具体的な点灯時間については、照明の種類や計画内容により異なるため数値を定めませんが、「メリハリ」とともに、省エネルギー化についても誘導していきます。</p>
<p>27 特に横浜市が持つ夜間景観形成に大きな影響を持っているのはみなとみらい地区です。そこで、ガイドラインとして策定すべきなのは、夜景を形成する時間というのは考えるべきです。9ページの方向性(2)-2として示されている時間的なメリハリを意識するという箇所にて、季節によって日照時間などは違いますが、どの時間帯に日常的に夜景を形成するのか(例：18:00～24:00)というのを明記するべきではないのでしょうか。多くの人が夜景を楽しむと思われる時間に限定することで無駄な電力を削減することができます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 「第5章 魅力的な光のあり方」のP.32「⑤季節や時間に合わせた演出」では、時間に合わせて光の強さや色などを調整することや、P.39「②環境に配慮した照明」では、照明器具の点灯時間や、調光によるエネルギー消費の抑制など、適切な制御を検討することを求めています。具体的な点灯時間については、照明の種類や計画内容により異なるため数値を定めませんが、「メリハリ」とともに、省エネルギー化についても誘導していきます。</p>
<p>④輝度・照度等の明るさに関する意見（4件）</p>	
<p>28 星空の見える横浜市になって欲しい。 今の夜景は美しさではなく眩しさを覚える。 特に某建物(※)のライトは下品で仕方ない。 スカイラインの照明は禁止すべきだ。 各照明機材は、輝度を制限するべきである。 照度と違い、輝度はどんなに遠ざかっても減衰しないので、まずこれを制限すべきである。 (※ご意見の原文は固有の建物名のため、名称を伏せています。)</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 「第5章 魅力的な光のあり方」のP.32「④光の位置や大きさ、動きのある光への配慮」では、周辺の夜間景観と調和しているか、必要以上に眩しく目立つ光になっていないか、形態や照明の輝度等に配慮するよう求めています。また、いただいたご意見を受け、P.32「③グレアの抑制」に、高層ビルの頭頂部や規模の大きな照明等は、周辺へ与える影響が特に大きいことから、周辺の夜間景観と調和するよう、輝度等について配慮を求める旨を追加しました。 いただいたご意見は、関係部局と情報を共有します。</p>
<p>29 横浜に越してきてびっくりしたのは星がほぼ見えないこと。磯子駅前だと一等星すら怪しいレベルに空が明るすぎて、見えないと言ってもいいレベル。まだ世田谷の用賀の方が見えたぞ。 光害と言ってもいいレベルで明るすぎる。空を照らす必要はないだろう？せめて0時をすぎたら照度を落とすとか必要ではないだろうか。我々には暗がりも必要だ。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 「第5章 魅力的な光のあり方」のP.32「⑤季節や時間に合わせた演出」では、時間に合わせて光の強さや色などを調整することや、P.39「③周辺環境への配慮」では、周辺の立地状況を踏まえ、眩しい照明を控えたり、深夜の時間帯では演出を避けるなど、周囲への配慮を求めています。 具体的な内容については、個別の計画ごとに調整を行うこととなります。</p>
<p>30 また、上向きの照明を禁止し、夜間の空への光害を避けるべきである。 神津島を見習って、安全な明るさと、星空を両立してほしい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 「第5章 魅力的な光のあり方」のP.32「④光の位置や大きさ、動きのある光への配慮」では、サーチライトの設置にあたっては、周辺の夜間景観と調和しているか、必要以上に眩しく目立つ光になっていないか、形態や照明の輝度等への配慮を求めています。 いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>31 シンボルのライトアップは光が強すぎると周りの明かりとのバランスが崩れる恐れがあるかもしれません。周りが暗くなりすぎたり、明るくなりすぎたりするのではないのでしょうか？</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 「第5章 魅力的な光のあり方」のP.32「④光の位置や大きさ、動きのある光への配慮」では、光の位置や強さ、大きさ、方向によって、周辺への影響が変化し、遠方まで視認可能となるため、夜間景観を演出する際は周囲へ配慮することや、P.39「③周辺環境への配慮」では、周辺の立地状況をふまえ、眩しい照明を控えたり、深夜の時間帯では演出を避けるなど、周囲へ配慮することも求めています。 具体的な内容については、個別の計画ごとに調整を行うこととなります。</p>

市民意見募集でいただいたご意見と
ご意見に対する市の考え方

ご意見	市の考え方
⑤災害時の対策に関する意見（3件）	
32 安全、安心にするために、災害発生時に光が消えない仕組みを検討してほしいです。	ご意見ありがとうございます。 いただいたご意見は、関係部局と情報を共有します。
33 ガイドラインに災害時に使用できるような照明も記載するべきだと思います。具体的には、避難場所や住宅の近くには災害時でも使用できるように、太陽光パネル、蓄電池がついている街灯、案内板などです。案内板は名古屋駅前にあるような、災害時にUSB充電機能を使えるものだとより良いと思います。	
34 市民の安全、防災の視点からいえば、普段からシンボリックな建造物のフォルムをライトアップするのは有効ですが、仮に停電になった際、日頃の照明に頼っていることで逆に方向性を失う危険性があります。停電になっても建物のフォルムが認知できる程度のものが非常発電等で賄われている状態が望ましいと考えます。これは民間事業者に負担させるだけでは難しいので、行政のサポートもいただきたいと思っています。	
⑥その他の意見（4件）	
35 P8 3. 光の特性 光の反射について 光には反射する性質があります。ガラスや水面に光が反射することで、照明演出の効果が大きくなります。この記述に関して、海にごみなどが浮いていることが多く、せっかく綺麗な光の反射でも、ごみに目が行ってしまうので、海も綺麗にするべきだと思います。	ご意見ありがとうございます。 いただいたご意見は、関係部局と情報を共有します。
36 18ページ 夜間も安全・安心かつ快適に楽しめる街 「照明は、足元や行先を照らし、夜間の歩行や移動の助けとなるもの」という記述があるが、この道に点字ブロックを設置すれば、健常者だけでなく障害者や高齢者の方たちも景色を一望することができ、バリアフリーに対応することができる。	ご意見ありがとうございます。 いただいたご意見は、関係部局と情報を共有します。
37 p31の「① 適切な色温度」にある、「色温度が低い・高い照明」の写真のように、他の写真、例えば「歴史的な建造物の照明」が以前とはどう違うのかの比較写真があるとより分かりやすいのではないのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 本ガイドラインでは、P. 31の他にも、P. 12やP. 16において「昼と夜」や「日常と非日常」の比較を掲載するなど、分かりやすい表現に努めています。また、これから目指すべき夜間景観のあり方を示し、横浜らしい魅力的な夜間景観形成を進めていくための指針とするため、過去の事例との比較ではなく、主に良好な事例を掲載しています。
38 水面のライトアップは近くを渡航する船舶にグレアを引き起こす可能性があるのではないのでしょうか？	ご意見ありがとうございます。 「第5章 魅力的な光のあり方」では、P. 39「③周辺環境への配慮」において、臨港部でライトアップ等をする際は、船の運行に支障をきたすことがないように、十分な事前調整を行うなどの配慮を求めています。 いただいたご意見は、関係部局と情報を共有します。